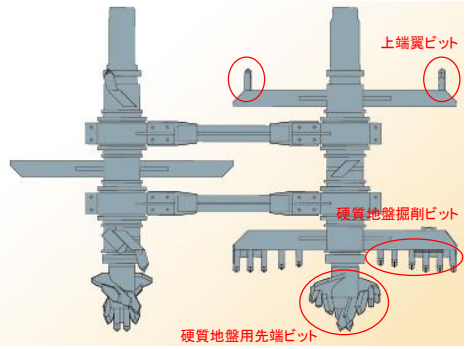
CI-CMC-HA 工法

NETIS 登録番号：QS-160049-VE（R2 準推奨技術、活用促進技術）　　NNTD 登録番号：1250

※NNTD・・・農業農村整備民間技術情報データベース

○工法概要

CI-CMC-HA 工法は、従来の CI-CMC 工法に加え攪拌翼（先端ビット・掘削ビット・エジェクター吐出口）の形状および配置等を改善した。これにより、CI-CMC 工法では施工が困難であった硬質地盤への適用が可能となった、また、あらかじめ設定した範囲のエアー吐出量になるように、エアー圧を自動制御することで、改良体強度のバラつきを低減している。



CI-CMC-HA 工法攪拌翼

○施工機械と適用地盤の目安

上段：標準的な施工速度
下段：硬質層が（3m以下）ある場合

改良径 (mm)	単軸						2軸	
	超小型機		小型機				標準機～超大型機	
	砂質土 N値	粘性土 N値	砂質土 N値	粘性土 N値			砂質土 N値	粘性土 N値
φ1,000	20 (35)	4 (7)	25 (40)	5 (8)			35 (60)	11 (17)
φ1,100	20 (35)	4 (7)	25 (40)	5 (8)				
φ1,200	15 (30)	3 (6)	20 (35)	4 (7)			30 (55)	10 (16)
φ1,300	15 (30)	3 (6)	20 (35)	4 (7)			30 (55)	10 (16)
φ1,600							25 (50)	8 (14)

※　玉石混り層に対しては、標準的には最大粒径でφ100～200mm 以下までが適用範囲であるが、最大でφ700mm 程度の玉石を混入する地盤での施工事例もある。

※　2 軸機にいて改良径以上の軸間距離で施工する場合には、個別に検討が必要である。

○能率

地盤条件、施工条件にもよるが、

2 軸標準機
225m3/日程度
（φ1,600mm、打設長 15m）